

業務名 (業務コード)		保税管理資料再出力依頼情報登録・変更 (DLH01)														コード	入力条件/形式		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件						登録	変更			呼出し/削除	
								登録	変更	呼出し	削除	登録	変更						呼出し
1		入力共通項目		an	398			M					M			M			
2		処理区分コード	KND	an	1			M					M			M			9:登録 5:変更 3:呼出し 1:削除
3		受理番号	JNO	an	5			X					M			M			
4		処理ステータス	STS	an	1			-					-			-			
5	5	削除フラグ	DFL	an	1			X					C			-			通番を指定して削除を行う場合は、「D」を入力
6	*	通番	SNO	an	3			X					M			-			
7	*	管理資料番号	SCD	an	1			M					M			-			対象の管理資料番号を入力 1:航空輸入貨物搬出入データ(日報) 2:航空輸入貨物取扱等一覧データ(日報) 3:航空輸出貨物取扱等一覧データ(日報) 4:航空輸出貨物搬出入データ(日報) 5:輸入貨物搬出入データ(週報) 6:貨物取扱等一覧データ(週報) 7:輸入貨物コンテナ関連データ(週報) 8:輸出貨物搬出入データ(週報) 9:輸出貨物コンテナ関連データ(週報)
8	*	対象年月日(開始)	KDT	n	8			M					M			-			再出力対象管理資料のデータ収集対象日を入力 (1) システム年月日-5年1ヶ月≤対象年月日(開始)であること (2) 取出可能期間内であること
9	*	対象年月日(終了)	SDT	n	8			M					M			-			再出力対象管理資料のデータ収集対象日を入力 (1) 対象年月日(開始) ≤ 対象年月日(終了) < システム年月日であること (2) 取出可能期間内であること (3) 対象期間が1日の場合は、対象年月日(開始)と同日を入力 (4) 1業務で指定可能な対象日数の範囲は、管理資料単位に以下のとおりとする。 (A) 日報の場合 「対象年月日(終了)」 - 「対象年月日(開始)」の日数の差 + 1 ≤ 31 (B) 週報の場合 「対象年月日(終了)」 - 「対象年月日(開始)」の日数の差 ÷ 7 + 1 ≤ 31